

★ 記入例

2025 年度 第 5 回ローカル SDGs 四国表彰 応募シート

1. 基本情報 (ご記入いただいた情報は当表彰の審査手続きにのみ使用します。)

ふりがな	ちくりんをかつようしたかんきょう・しゃかい・けいざいをじゅんかんせるとりくみ
取組活動名	竹林を活用した環境・社会・経済を循環させる取組
ふりがな	〇〇かっせいかきょうざい
活動団体名	〇〇活性化協議会
連絡先	住所: 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇〇〇 TEL: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 / FAX: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 Mail: 〇〇〇〇〇@〇〇〇〇〇〇
HP 等の URL	HP: https://〇〇〇〇〇〇〇 SNS: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

※審査・選考にあたり、事務局より電話等によるお問い合わせをさせていただく場合もございます。

2. 推薦者 ※他薦の場合はこちらもご記入ください。

ふりがな	
氏名・団体名	
連絡先	TEL: Mail:
HP 等の URL	HP: SNS:

※他薦の場合は推薦者の推薦状(形式自由)を別途ご提出ください。

3. 応募内容 取組や事業についてご記入ください。

取組地域	〇〇 県 〇〇 市
取組年数	〇〇 年
取組内容 (300 字以内)	※なぜこの取組を始めたのか、取組方法、成果と課題等を記載。 近年、日本の放置竹林の問題は深刻化し、災害を引き起こす要因となっている。●●町でも放置竹林面積が増加し、いつタケによる被害が発生してもおかしくない状況であったため、解決のための取組を始めた。取組方法は、まず、地域住民等への周知・普及啓発(竹あかりイベント開催)をすることで、関心を喚起し整備人材確保につなげると共に、普及啓発商材(メンマや竹チップ、竹炭)を製造販売し活動費用に充てている。今後は地域の労働人口減少に貢献するために、外国人人財の登用も検討している。
取組で目指す ビジョン (200 字以内)	※取組を実施することによって達成できる目標や地域への期待できる効果などを記載。 放置竹林対策に関わる地域人口や関係人口を増加させることで、放置竹林の拡大を抑えたい。 この目標を目指すことで、竹林整備を取り巻く地域内でのパートナーシップの拡がりや竹の六次産業化による地域循環の可視化・注目度の向上が期待できる。次世代に向けた持続可能な環境整備モデルとして、町の活性化にも貢献したい。

4. 取組評価の要旨 具体的に各項目 200 字以内でご記入ください。

協働の度合い	多様な主体を巻き込んだ活動であるか。具体的な協働先。協働先との役割分担
	町の森林整備課、森林組合、農家、地域の国際ボランティアグループ、社会福祉協議会、地元企業と連携し、活動をしている。また、この取組を運営する事務局には町の地域おこし協力隊と環境活動に従事しているNPO 法人の理事があり、地域と連携した取組ができている。
将来への展望	取組や体制が持続可能か。将来に期待できる理由 現在、様々な活動団体や企業と協働することで、情報共有や収集が容易にできている。地域にこの取組内容が浸透しつつあり、取組みの継続が期待できる。各協働先の役割として町の森林整備課が当初の協力体制確立のためのつなぎ役を果たしてくれたのは大きい。今後は、協議会を中心に各主体が得意技を活かしながら自立連携できる体制づくりを進めたい。

★ 記入例

2025 年度 第 5 回ローカル SDGs 四国表彰 応募シート

地域への貢献	地域の課題解決や新たな価値創造により、地域に貢献しているか (お金を落としているか、雇用を生み出しているかなど。)
	町の人口減少には歯止めがかかっていないが、この取組みにより町の広報発信力も上がり、毎年、1000 人以上の方が、地域外から視察に来るようになり、地域の交流人口増大に貢献している。
統合性・ 包摂性	環境・経済・社会の幅広い地域課題の同時解決が期待され、誰一人取り残さない社会を目指しているかについて具体的な取組み・進め方
	この取組では放置竹林の竹を使い、住みやすい環境づくり、六次産業化という経済循環、人口減少の防止を目指している。また社会福祉協議会と町の国際交流ボランティア会とも連携をして、年齢や国籍を超えた多様な人材が関わるような参画のしくみづくりに注力している。
先進性の 度合い	四国をリードするような、一歩先をいく取組であるかについて (商品の紹介だけではなく、事業・取組内容の点も含めて要記載)
	六次産業化の点からいくと、放置竹林から搬出した地元の竹をメンマや竹チップ、竹炭に加工している点や、もっと多くの方に手にとってもらえるよう、製紙業者と連携し竹紙の製造に取り組み、世界中に伝えられる。
人材育成の 度合い	個人や団体の育成にどのように貢献しているかについて
	この地域資源を活かした取組は、学校教育の現場でも関心を持ってもらえるようになり、出張授業回数が増加するとともに、イベント等での普及啓発の機会も増え、ボランティア登録者、参加者数が増加している。
総合的な インパクト	持続可能性への総合的なインパクトの大きさについて (環境・社会・経済における複数分野にまたがる好循環創出への貢献を示す。)
	人口●人の町での放置竹林対策から始まった取組みが、交流人口の増大や教育現場での発信等へ広がりを見せており、今後、町や企業を含む、多様な主体との実践的な連携が進むことにより、地域の収入源を増やし、住みやすい環境を整え、魅力ある街づくりを進めている。
総合	ローカル SDGs(地域循環共生圏)の考え方方に即した事業・取組かについて
	放置竹林が地域で役立つ地域資源となり、整備された美しい竹林は地域の価値として生まれ変わる。これにより地域内外の連携促進や六次産業化への連携による環境と経済の好循環を生み出したい。
(過去 2 年以内に ローカル SDGs 四国 表彰以外で受賞歴が ある場合のみ)	受賞後からの変化やPRポイントについて

5. 応募内容と合致する SDGs の項目に○をご記入ください。(複数選択可)

1.貧困をなくそう	10.人や国の不平等をなくそう
2.飢餓をゼロに	○ 11.住み続けられるまちづくりを
3.すべての人に健康と福祉を	12.つくる責任、つかう責任
4.質の高い教育をみんなに	13.気候変動に具体的な対策を
5.ジェンダー平等を実現しよう	14.海の豊かさを守ろう
6.安全な水とトイレを世界中に	○ 15.陸の豊かさも守ろう
7.エネルギーをみんなに。そしてクリーンに	16.平和と公正をすべての人に
○ 8.働きがいも経済成長も	○ 17.パートナーシップで目標を達成しよう
9.産業と技術革新の基盤を作ろう	

6. (任意)取組がわかる写真または動画 ※いただいた画像、写真の返却はございません。ご注意ください。

写 真 (3MB 以内)	データアップロード URL: ○○○○.△△
動 画 (3MB 以内)	YouTube またはデータアップロード URL: ○○○○.△△

7. 過去の類似する賞の受賞歴

※過去 5 年間で類似する賞の受賞歴がある場合はご記入ください。(例:●●年、●●賞を受賞)